



令和6年度 第5号
令和6年4月18日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

歓迎会 6年生の頑張りについてお知らせします。当たり前は当たり前ではないのです。

歓迎遠足に行きました。校長先生は、前の年もその前の年も出張が入っていていっしょに行けなかったのです。今年度は久しぶりにいっしょに行けました。まずは歓迎会の様子です。



この歓迎会は、6年生が大変頑張りました。6年生に進級してやっと1週間。しかしその間にも、6年生としての責任の重さに出会うことが多かった6年生のこどもたち。しかし、就任式、始業式、掃除の時間、授業時間、休み時間、1年生のお世話等、様々な場面で最上級生らしい振る舞いをしてきたのです。この1週間での成長はすばらしいものがあるのです。6年生になって1週間と言いましたが、その間に、入学式準備、入学式がありましたので、実際に歓迎会の準備をすることができたのは、金曜日と月曜日です。そのまぼ二日間で、1年生のために会の準備をしたのでした。

〇×クイズ、お仲間あつまれ！（どんなゲームなのかはお子さんに聞いてください。私がやっていた時には、そんな題名をつけていたゲームです。）貨物列車と出し物が続きましたが、みんなで一生懸命に考えたのでしょう。司会をすることも、コーナーの担当をすることもみんな、今までと違う、一味違うレクリエーションを考えたのでしょうね。本当に頭が下がります。

ですので、この学校だよりをお読みになった後に、6年生が準備した歓迎会は、当たり前ではないということを、ぜひ、お子さんたちに伝えてください。そして、そんな上級生を目指すようにお声かけいただければ幸いです。こどもたちにも機会があることに伝えたいことなのですが、「当たり前」というのはただではないということです。現在、当たり前と思われていることは、世の中にいっぱいあるかもしれません。（裏面に続きます）

例えば、教科書が無償になっていることも、当たり前のことではありません。その当たり前は、誰かの精一杯の努力の成果の上にあるものなのかもしれません。それを理解したうえで、いろいろなことを考えることができるようになってもらいたいです。

このようなことを考えることができるのも、すべては6年生の頑張りがあったことです。新年度のスタートから、6年生の頑張り、心が熱くなった校長先生なのでした。これから、このこどもたちがどのような学校のリーダーに成長していくか、本当に楽しみにしています。(校長)

校長先生の虫眼鏡「平成中央公園での様子です。」

今年度は久しぶりに遠足にいっしょに行けました。よかったあ(^_^)

